



水稻新品種「はれわたり」の特性

～ 胴割粒の発生が少なく、栽培特性が優れる良食味品種を開発 ～

要約

胴割粒の発生が少なく、栽培特性が優れる良食味品種、「はれわたり」を育成しました。令和5年産米は食味ランキングで**特A評価**を取得しました。

研究成果の概要

1. 背景・目的

本県では「つがるロマン」が広く作付けされてきましたが、近年の夏の暑さにより、胴割粒の発生が問題となっていました。また、「青天の霹靂」は栽培地域が限られるため、栽培できない地域でも「特A」評価の取得が可能な品種が望まれていました。

そこで、胴割れしにくく、県内の広い地域で栽培可能な良食味品種を開発しました。

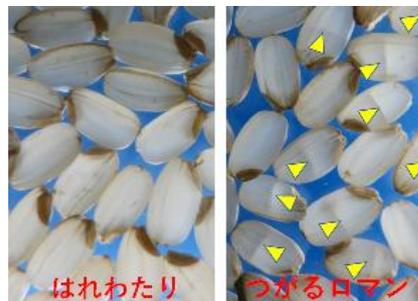
2. 内容

表 「はれわたり」の主要特性

胴割粒の発生は**明らかに少ない**。

品種名	早晚性	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	玄米 収量 (kg/a)	同左 標準比 (%)	玄米 千粒重 (g)	玄米 品質	胴割粒 発生割合 (%)	穂発芽 性
はれわたり	中生早	8月1日	9月11日	79	61.8	97	22.9	上中	9.2	かなり難
つがるロマン	中生中	8月2日	9月13日	79	64.0	(100)	23.2	上中	37.4	やや難
まっしぐら	中生早	7月31日	9月11日	75	62.6	98	23.2	上下	20.0	難

品種名	いもち病抵抗性		耐倒伏 性	障害型 耐冷性	玄米	白米
	葉 いもち	穂 いもち			タンパク質 含有率 (%)	アミロース 含有率 (%)
はれわたり	強	かなり強	やや強	やや強	6.2	16.5
つがるロマン	やや強	中	中	中	6.2	18.3
まっしぐら	強	やや強	強	中	6.3	17.5



胴割粒発生状況 (令和元年産米)

(注)平成27～令和4年、農総研(黒石市)標肥区の結果。
胴割粒発生割合はグレインスコープで調査した結果で軽微な胴割れを含む。
玄米タンパク質含有率は水分15%換算値。

アミロース含有率が低いため、飯米の粘りが強く、軟らかい。

3. 活用等

- 安定して良食味・高品質米生産を行うため、作付けは『「はれわたり」栽培マニュアル』を参照してください。
- 穂発芽性が「かなり難」であり、種子の休眠が深いことから、播種はハト胸状態をきちんと確認して行ってください。



「はれわたり」の草姿

関連情報

令和5年産米は食味ランキングで特A評価を取得しました。令和6年度は県内全域で約6,000ha作付けされました。

農林総合研究所 水稻品種開発部

Tel. 0172-52-4312

E-mail nou_souken@aomori-itc.or.jp

あおりの未来、技術でサポート

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

